

【総合的な学習の時間】 第7回授業 指導案

芝浦工業大学柏中学高等学校 探究科

1. 単元名 グリーンスクール事後学習発表会

2. 本時の概要

本時は、中学2年生の「総合的な学習の時間」における第7回、宿泊行事「グリーンスクール」の事後学習のまとめとなる授業である。

生徒たちは、福島県南会津町での実地調査やインタビューを通じて得た情報を、これまで「記者トレ」の手法を用いて整理してきた。本時はその集大成として、収集した情報を読者に伝えるための「特集記事」として完成させ、クラス全体で共有・評価する活動を行う。

この活動で特に重視しているのは、「情報の再構成力」と「他者評価を通じたメタ認知」である。自身の体験や取材内容を客観的な事実と自身の視点で編み直し、魅力的な記事に仕上げる力、そして他者の作品を評価項目に照らして批判的に読み解く力は、今後の探究活動において不可欠な素養となる。

具体的な展開として、1時限目にはスクールタクトを活用して記事の清書を完了させる。2時限目には、匿名性を確保した上での相互評価(ピアレビュー)を実施し、Googleフォームを用いた投票によって選出された代表生徒によるプレゼンテーションを行う。最終的にはクラス全員の挙手により、最優秀作品を決定する。

これらの活動を通して、自身の成果を他者に発信する喜びを実感させるとともに、優れた作品から学びを得ることで、次回以降の本格的な探究活動におけるアウトプットの質を向上させるきっかけとするため、本時を設定した。

3. 本時の目標

- **特集記事の完成と表現の洗練:** 「記者トレ」の技法や評価項目を意識し、グリーンスクールでの取材成果を事実と自身の考察を交えた独自の特集記事として、スクールタクト上で制限時間内に清書・完成させることができる。
- **客観的な視点による相互評価の実践:** 匿名での相互評価を通じて、他者の記事の優れた構成や表現、視点を評価項目に基づいて客観的に分析し、評価基準に照らし合わせた適切な投票を行うことができる。
- **プレゼンテーションを通じた成果の共有:** 選出された代表者の発表を視聴し、優れた記事のポイントをクラス全体で共有することで、質の高いアウトプットへの理解を深め、自身の表現力を向上させようとする主体的な態度を養う。

4. 本時の準備・使用教材・参考文献

- 教員用提示資料:
 - 授業スライド 第7回

- 使用教材(副教材):
 - 岡本尚也(2024)『ゼロから始める探究活動 課題研究メソッド ZERO』新興出版社啓林館
 - 毎日新聞社編『記者トレ』毎日新聞社
- 生徒用配布プリント:
 - グリーンスchoolのしおり(冊子、事前に配布済み)
 - スクールタクト課題『グリーンスchool事前事後学習』(デジタル学習ツール上で配信)

5. 本時の展開(100分:50分×2コマ / 中間休憩10分)

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
【1時限目】		
5分	1. 本時の目的と最終評価を確認する。 清書の完了期限と、2時限目に実施する発表会の流れを把握する。	スライドを提示し、評価項目を再確認させることで、質の高い清書を促す。
40分	2. 特集記事を完成・清書する。 スクールタクトを用い、評価項目に基づき記事の最終調整を行う。匿名性を保つため、名前欄を一時的に塗りつぶす処理を行う。	全員が時間内にスクールタクト課題『グリーンスchool事前事後学習』の1ページ目の清書を完了できるよう、机間指導を行ってお声掛けをする。
5分	3. 発表会に向けた準備を行う。 自身の記事の送信を確認し、休憩後の相互評価に向けた心構えを整える。	提出状況を確認し、未完了の生徒に対して個別のフォローを行う。
【2時限目】		
5分	4. 相互評価の方法を理解する。 クラス内でのグループ分け(A～D)を確認し、評価の視点(事実、ニュース性等)を再確認する。	スライドを用い、クラスを4分割して効率的に記事を読み合う手順を明示する。
20分	5. 他者の記事を読み、分析する。 GoogleClassroomに配信されたPDF	欠席者がいる場合は、各生徒が読む記事数が均等になるよう調整を行う。

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
	記事集のうち、自身の担当範囲を読み込み、優れた構成や表現を抽出する。	沈黙を守り、公平な視点で他者の成果を評価する環境を整える。
5分	6. 優れた作品へ投票する。 指定されたGoogleフォームにアクセスし、自身以外の作品から評価項目に合致する2作品を選んで投票する。	自身の記事への投票を禁止し、客観的な根拠に基づいた選択を促す。
16分	7. 代表者によるプレゼンテーションを聴講する。 得票上位の生徒(6～8名)による発表(各2分)を聴き、自身の表現との違いや工夫を学ぶ。	教員は速やかに開票を行い、発表者を指名する。票が割れた場合は決選投票を実施するなど臨機応変に対応する。
4分	8. クラス最優秀作品を決定し、振り返る。 挙手制で最優秀作品を選定し、クラス全体の成果を讃え合う。	優秀記事を名簿に記録し、全体の学びを総括して締めくく